

2019年 7月29日

報道機関 各位

株式会社 秋田銀行

## 2020年3月期 第1四半期 決算のお知らせ

【単体】	経常利益	12億 3百万円	(前年同期比△2億24百万円)
	四半期純利益	8億68百万円	( " △2億 1百万円)
【連結】	経常利益	9億93百万円	( " △2億14百万円)
	親会社株主に帰属する四半期純利益	6億17百万円	( " △1億59百万円)

株式会社 秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、7月29日（月）、2020年3月期（2019年度）第1四半期の決算を発表いたしました。

### 1 損益（単体）

**経常収益**は、資金運用収益や国債等債券売却益の減少により前年同期比7億30百万円減収の89億7百万円となりました。

本業での利益を示す**コア業務純益**は、役務取引等利益は増加したものの、資金利益が減少したことにより1億51百万円減益の15億41百万円となりました。

**経常利益**は、与信関係費用は減少したものの、国債等債券損益が悪化したことにより2億24百万円減益の12億3百万円となりました。

**四半期純利益**は2億1百万円減益の8億68百万円となりました。

### 2 損益（連結）

**経常収益**は、前年同期比6億76百万円減収の98億73百万円となりました。

**経常利益**は、2億14百万円減益の9億93百万円となりました。

**親会社株主に帰属する四半期純利益**は1億59百万円減益の6億17百万円となりました。

連結損益の増減は、主に銀行単体の増減要因によるものです。

### 3 預金および貸出金（単体）

預金（譲渡性預金を含む。）の期末残高は、個人および法人預金の増加により前年同月末比155億円増加し2兆7,618億円となりました。（増加率は+0.5%、預金は過去最高残高となりました。）

貸出金は、個人ローンや事業先向け貸出は増加したものの、地公体向け貸出の減少により前年同月末比53億円減少し1兆6,586億円となりました。（増加率は△0.3%）

詳細につきましては決算短信をご参照ください。